

地元活性化探究プロジェクト

～Explore our local community and ourselves～

疑問1 そもそもどうして探究なの？

今まで木曜 7 時間目に行われていた「総合」正式名称「総合的な学習の時間」は「総合的な探究の時間」へと変わりカリキュラムに組まれます。中津高校でもこの時間を活用し、個人の **＃気になること** について **深掘りする機会** を多く作り出そうと考えています。実際に現地に足を運び、ネット上にはないオリジナルな情報を入手・分析し、学年の締めくくりには弁論大会を通してまとめ、発表する力を養います。3 年生はこの探究型学習で得た問題解決力を推薦・AO 入試などに活用。

疑問2 どうして高校生が対象なの？

高校生が将来のことを考えるきっかけを与えるのに適した学習スタイルだからです。卒業後、大人との社会でどのように生きていけばよいかという課題に直面する人も多いはずです。進路実現のため、今のうちに興味あることを深掘りすることで進学目的も明確になります。3 年生になりネタ作りのためにとりあえず何か....というのでは手遅れ感があります。

さあ、**探究**しよう!!

疑問3 どうして地域を舞台に探究するの？

地域社会との関わりの中にこそ実生活・実社会に根差した課題が横たわっていますし、いきなり、東京だ！やれヨーロッパだ！！といったところで現実的ではないはずです。地元ならば今まで学校の中にはなかったさまざまな人や物、施設、技術、知恵、機会を活用することが可能になります。学んだ知識を活用し他者とともに問題解決できた経験はみなさんにとって大きな自信となるでしょう。(逆に丸暗記した答えを答案用紙に記入する作業をしても、実生活で何の役にもたたないと思いませんか？)

疑問4 でもどこから始めればよいの？

まずは個人の課題設定が大切です。まさに **＃興味あること** **＃** なんてだろうと思うことを考えてみてください。vol.1 のニュースレターでもお伝えしましたが、担当の先生もいるし、中津高校の先生全員がいわば皆さんのサポーターでありフォロワーです。また、今後詳しく紹介しますが、中津高校にはコーディネーターとして外部と高校を結び付けてくれる人材や、中津川市役所定住推進課の方や一般社団法人ひがしみの団地さんが皆さんが地域で活動しやすいよう全面的にサポートしてくれます。学校外部からイベント、学習会などへのお誘いが今後たくさん企画されます。校内でも探究サロンを定期的に関き先生と生徒、外部人材が語らう場を設けていきます。少しでも気になることがあるのならそれは参加する時です!!

「社会の変化と求められる資質・能力」～今昔物語～

戦後の日本人の幸せは個人所得→国の幸せは→

→指示を受け早く正確に唯一解を出す力が大切だったが、しかし!!

情報化、国際化、多様化、AI 化などの煽りを受け

→主体性、協働性をベースに答えのない難題に取り組む

→探究的学習が今日本中でホットな理由

次回号では昨年度の活動を紹介します!